



2008 年度第 1 号

# やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校  
理事会通信

2008 年 4 月 5 日

## 新年度を迎えて



### 理事長 アルドリッチ 和子

新入生の皆さん、在校生の皆さん、そして保護者の皆様、2008 年度がスタートしました。たくさんの希望や目標を持って本年も一年間すばらしい学校生活をおくってください。本年度はサンフランシスコ日本語補習校の長年の

願いであった幼稚部がいよいよ開校となりました。借用校を週一回使用し全校幼児・児童・生徒 1200 名以上の世界で 2 番目に大きな補習授業校も来年度は創立 40 周年を迎えます。今日までの歩みは創立時の「海外にいても日本の教育を」という保護者の一貫した思いそのものです。また補習校は保護者の方々もお子さんと同様に参加して成立っている学校です。このすばらしい学校の歴史が今後も益々発展を遂げながら継続してゆくためには皆様の参加とご理解は欠かせません。いろいろな角度から学校を見つめ、今後も支えていってくださいますことをお願いいたします。

なお、法人会員および保護者のボランティアから成立っている理事会ですが、長年理事をお送りくださった上、会議会場をご提供くださいました Hitachi America 様に、また本年度の会場をご提供くださる副理事長小島氏のご勤務先 Obayashi Corporation 様、および小職勤務先 Oki America に心からお礼申し上げます。



### 校長 植木 進策

平成 20 年度が始まりました。本年度も理事会、保護者の方々の本校へのご支援、ご協力を得ながら学校運営を致したいと思います。よろしく願いたします。

さて、先日 (3 月 22 日 (土)) ジャパンタウンの UNION BANK の会議室をお借りして 4 校合同の主任会を開催いたしました。この会では、平成 20 年度の学校としての方針を発表し確認すると共に、各学校の来年度の方針や申し合わせ事項の検討等をおこない、新年度に向けての気持ちを新たにしました。

学校としての今年度の実践目標は、一番目に、「日本語をはなそう。」を引き続き行い、各自の目標を設定し、より具体的に日本語について取り組むようにします。2 番目には、教師の実践目標として、「教員研修を行いスキルアップを図る。」こととしました。

ところで、北米や欧州の補習授業校、特に大規模補習授業校では多様な子ども達に柔軟に対応できる教

員の育成が課題になっています。今から 10 年前、いくつかの補習授業校では、児童・生徒の学力差の広がりに対応するため、目的別学級や習熟度別学級編成が試みられてきました。その後、各校ともいろいろな曲折はありましたが、10 年経過し、結果としては、残念ながら、これが成功したという報告はありませんでした。その原因はいろいろありますが、一つは、当然のことながら、保護者にしてみれば、こどもに今一步のがんばりを期待し、難度の高いクラスに入れる傾向があるため、当初期待した効率的な授業が出来ないこと。2 つには、それぞれのところで効率よく頑張ることを期待したのに、「ぼくは、ほどほどでいいんだ。」と思ってしまう、学習の定着度が以前より低下する傾向があること。そして、少人数学級になるため、経営面を圧迫するなど、当初の期待した予想とは違ったものになりました。結果として、これまでおこなってきた習熟度別、目的別学級編成は、今までおこなってきた方法では難しいことが確認されました。

しかし、学習の幅が広がる傾向は収まったわけではなく、今後、さらに拡大することも考えられます。このような状況に対応するため、各校ともいろいろと知恵を絞っていますが、その一つは、基本に返り、多様な子どもに対応できる教員を育成することです。そのためには、研修の充実をはかると共に、その時間を確保することが重要になってきます。本校もこれに対応するため、時間を確保し、研修の充実を図っているところです。他にも各地区の補習校ともその学校に応じた取り組みを続けていますが、どちらにしてもポイントは、子どもの意欲をいかに高めるかだと思います。このキーポイントは、「教師の指導力の向上」です。

このような状況をふまえ、前述致しました①「日本語をはなそう。」②「教師の指導力の向上。(分かる授業をするための研修)」を今年度の実践目標といたしましたが、理事会、保護者、北加商工会議所 (JCCNC) をはじめ、地域のみなさまのご協力の下、一步、一步前進する学校として努力を致す所存ですのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 2008 年度理事会の役員構成

理事長	アルドリッチ 和子
副理事長	小島 眞志
財務役	土井 千景
監査役	松波 博之

## 2008 年度理事の所感・抱負



雨川浩之

アメリカに住み始めたのは 1988 年で、そろそろ 20 年になります。子供は、日本とアメリカの両方の文化、言語に親しめて使える人になって欲しいと思い、この日本語補習校を選びました。息子は今年小学部サンノゼ校の 2 年生になります。借用している校舎など様々な制限がある中で、先生方やボランティアの方々にはよく努力をされていると思います。私も微力ながら、理事としてそのお手伝いをさせて頂きたいと思います。



奥泉浩一

日系電機メーカーに入社してしばらく営業を経験した後、人事部門に異動し、以降は現在に至るまで一貫して人事を担当してきました。人事部門では主に制度の企画運営および社内教育プログラムの企画・開発を行ってきました。人事部門で得た企画や運営のノウハウを活かし、日本語補習校の発展に貢献したいと思っています。よろしくお願いいたします。



賀川正人

本年度二年目の保護者会役員を拝命いたしました。保護者会から理事として参加させていただきます。補習校が子供たちにとって楽しく学び成長できる場として、さらには保護者の皆さんにとっても補習校に入ってよかったと言ってもらえるような場を作っていくことを目指し、微力ながらお力添えをさせていただきます。



小島眞志

平成 19 年度に保護者会から理事として一年間務めさせて頂きました。平成 20 年度も引き続きお手伝いさせていただきます。このサンフランシスコ日本語補習校が、私たちの子供達が安心して楽しく日本語が学べる場所である様、また今後とも末永く続いていきます様、微力ながら努力していきたいと考えております。どうか 1 年間何卒宜しくお願い致します。



小西光洋

本年度、サンフランシスコ校の保護者会を代表し理事会に参加させて頂くことになりました小西 光洋と申します。1968 年創立以来存続し続けて来た補習校が、保護者の皆様、学校、事務局、理事会の協力のもとに力強く存在し続けるよう、陰ながら努力するつもりでございます。皆様の御支援と御教示を賜りますよう宜しくお願い致します。



土井千景

理事として 2 年目となりました今年度は、開設が実現した幼稚部の安定した運営を援助するサポート委員会の業務を中心に、昨年度よりもさらに様々な学ばせていただきながら、少しでも学校のためになることができるように努力していく所存です。



橋都浩哉

サンフランシスコ校保護者会から理事会に参加することになりました。ベイエリアでの生活は家族ともども 3 年ほどですが、補習校で様々なお子様や保護者のかたがたと知り合い、日々たのしく過ごしております。英語と日本語で学ぶ子供達にすこしでもプラスになるように活動していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



藤井グレン

平成 18 年度に保護者会で会計を担当いたしました。その際に、日本語補習校で子どもたちが楽しんで学んでいくために、たくさんの方々々が尽力されていることを感じました。私もまた、何かお役に立てればと思っております。何卒よろしくお願いいたします。



松波博之

今年度から理事会に参加し、監査役兼法規委員長を担当させて頂くことになりました。微力ながら、子供たちが、安全かつ楽しく日本文化を学びながら友情を育む環境作りの一助となれるよう、頑張る所存です。何卒、よろしくお願いいたします。



森紀人

多少事情が解りかけてきた 2 年生坊主の今期は、財務委員として、健全な補習校財政の運営・強化に、微力ながら尽くして参りたいと思います。本業はサービス業ですから、大事なお客様の子育て教育に、補習校の永続的發展を基軸にお手伝いさせていただきます。



脇田いづみ

サンノゼ校保護者会会長として理事会に参加させていただきます。理事会と保護者の皆様をこの両手で温かく繋ぎ、双方の声を伝える良き仲人役になればと思っています。また、総務委員会のメンバーとしても、来年度創立 40 周年を迎える歴史ある補習校に少しでも貢献出来るように、微力ながらも精一杯頑張りたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

あいうえお順

